2020年 ９月試験
ファイナンシャル・プランニング技能検定

３級 実技試験

資産設計提案業務

実施日① ◆	年	月	日
実施日② ◆	年	月	日
実施日③ ◆	年	月	日
試験時間 ◆ 60分			

★ 注 意 事 項 ★

① 問題用紙は試験監督者の指示があるまで開けないでください。
② 試験問題は、試験用紙と解答用紙からなっています。解答はすべて解答用紙に記入してください。
③ 解答用紙にはあらかじめ受検番号、カナ氏名が印字されていますので、ご自身のものかを確認してから漢字氏名を記入してください。
④ 問題数は20問、解答はすべて三答択一式です。
⑤ 試験問題については、特に指示のない限り、法令基準日（１月・５月試験は前年10月1日、９月試験はその年の４月１日）現在において施行の法令等に基づいて解答してください。なお、東日本大震災の被災者等に対する各種特例等については考慮しないものとします。
⑥ 試験問題の内容に関する質問には一切お答えできません。
⑦ 問題用紙・解答用紙に印刷不明瞭や乱丁・落丁があった場合は、お申し出ください。
⑧ 解答用紙は試験終了後、回収しますので持ち帰らないでください。問題用紙はお持ち帰りください。
⑨ 計算機（電卓）は演算機能のみを有するものだけ使用できます。関数機能やプログラムの入力可能なものは使用できません。
⑩ 携帯電話やスマートフォンなどの通信機能を有する機器は電源を切ってカバン等へしまってください（マナーモードも不可）。
⑪ 机の上には受検票、本人確認書類、筆記用具（HBの鉛筆またはシャープペンシル、消しゴム）、計算機（電卓）以外のものは置かないでください。
⑫ 不正行為防止のため、試験監督者が持ち物の提示を求める場合があります。
⑬ 試験問題の音読は慎んでください。
⑭ 試験開始後、途中退室は一切できません。

FP3級ドットコム

【第１問】 下記の（問１）～（問２）について解答しなさい。

問１

ファイナンシャル・プランニング業務を行うに当たっては、関連業法を順守することが重要である。ファイナンシャル・プランナー（以下「ＦＰ」という）の行為に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 生命保険募集人・保険仲立人の登録を受けていないＦＰが、変額年金保険の一般的な商品内容について説明を行った。
2. 投資助言・代理業の登録をしていないＦＰが、顧客と投資顧問契約を締結し、当該契約に基づいて特定の上場株式の投資判断について助言をした。
3. 税理士資格を有していないＦＰが、顧客から相続財産に係る相続税額の計算を依頼されたため、業務提携をしている税理士を紹介し、業務を委ねた。

問２

下記は、小田家のキャッシュフロー表（一部抜粋）である。このキャッシュフロー表の空欄（ア）～（ウ）に入る数値とその求め方として、最も不適切なものはどれか。なお、計算に当たっては、キャッシュフロー表中に記載の整数を使用し、計算結果については万円未満を四捨五入すること。

＜小田家のキャッシュフロー表＞　（単位：万円）

経過年数			基準年	１年	２年	３年	４年
西暦（年）			２０２３	２０２４	２０２５	２０２６	２０２７
家族・年齢	小田　康介	本人	３２歳	３３歳	３４歳	３５歳	３６歳
	美紀	妻	３２歳	３３歳	３４歳	３５歳	３６歳
	真央	長女	３歳	４歳	５歳	６歳	７歳
	優太朗	長男	０歳	１歳	２歳	３歳	４歳
ライフイベント				住宅購入		美紀 復職	真央 小学校入学
		変動率					
収入	給与収入（夫）	１％	４２０		（　ア　）		
	給与収入（妻）	１％	０	０	０	３８０	
	収入合計	－	４２０			８１３	８２１
支出	基本生活費	２％	２７８				
	住宅関連費	－	１０６	１４０	１６５	１６５	１６５
	教育費	－	２０	２０	２０	３０	７０
	保険料	－	５２	４１	２８	２８	２８
	一時的支出	－	０	１，０００	０	０	０
	その他支出	－	１０	１０	１０	１０	１０
	支出合計	－	４６６	１，４９５		５２８	５７４
年間収支			▲４６		▲８４	（　イ　）	２４７
金融資産残高		１％	１，２４０			３８５	（　ウ　）

※年齢および金融資産残高は各年１２月３１日現在のものとし、２０２３年を基準年とする。

※給与収入は可処分所得で記載している。

※記載されている数値は正しいものとする。

※問題作成の都合上、一部を空欄にしてある。

1．空欄（ア）：「４２０×（１＋０．０１）^{2}≒４２８」

2．空欄（イ）：「８１３－５２８＝２８５」

3．空欄（ウ）：「（３８５＋２４７）×（１＋０．０１）≒６３８」

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第２問】 下記の（問３）～（問５）について解答しなさい。

問３

下記＜資料＞に基づくＭＸ株式会社の投資指標に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、購入時の手数料および税金は考慮しないこととし、計算結果については表示単位の小数点以下第３位を四捨五入すること。

＜資料：ＭＸ株式会社に関するデータ＞

株価	１，６００円
１株当たり純利益（今期予想）	２４０円
１株当たり純資産	２，０００円
１株当たり年間配当金（今期予想）	２５円

1．株価収益率（ＰＥＲ）は、１５％である。
2．株価純資産倍率（ＰＢＲ）は、０．８倍である。
3．配当利回りは、１．５６％である。

問４

会社員の湯本さんは、ＦＰの牧村さんに、ＮＩＳＡの成長投資枠とつみたて投資枠の特徴や注意点について質問をした。次の牧村さんの回答のうち、最も不適切なものはどれか。なお、本問においては、ＮＩＳＡ口座（特定非課税累積投資契約に係る非課税口座）のうち、特定非課税管理勘定を「成長投資枠」といい、特定累積投資勘定を「つみたて投資枠」という。

1．「成長投資枠は、上場株式を投資対象とすることができます。」
2．「つみたて投資枠は、個人向け国債を投資対象とすることができます。」
3．「成長投資枠やつみたて投資枠で売却損が出た場合、一般口座で生じた売却益などと相殺することができないため注意が必要です。」

問５

下記＜資料＞の投資信託を３０万口購入する場合の購入金額として、正しいものはどれか。なお、解答に当たっては、円未満を切り捨てること。

＜資料＞

約定日の基準価額（１万口当たり）	１３，２８４円
購入時手数料（税込み）	２．２０％
運用管理費用（信託報酬・税込み）	年１．５７％

1．４０４，７７６円

2．４０７，２８７円

3．４１３，５４４円

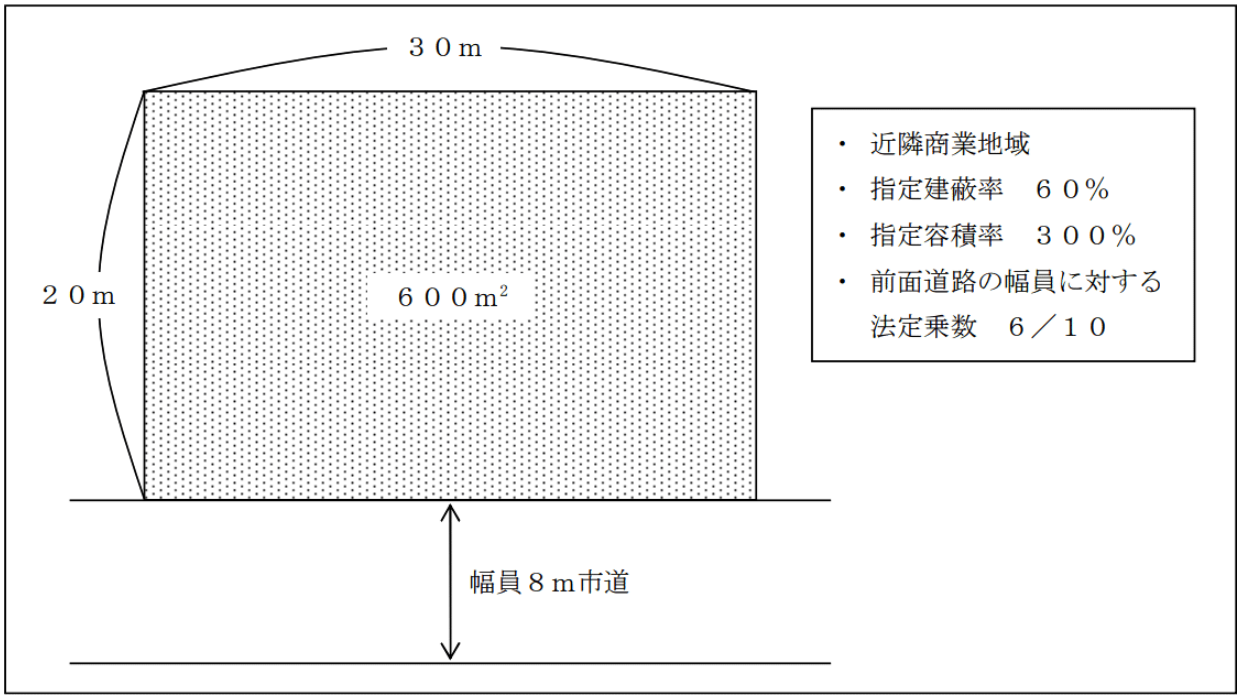
〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第３問】 下記の（問６）～（問７）について解答しなさい。

問６

建築基準法に従い、下記＜資料＞の土地に建築物を建築する場合、その土地に対する建築物の建築面積の最高限度として、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜資料＞



1. ３６０㎡
2. １，８００㎡
3. ２，８８０㎡

問７

下記は、不動産の取得および保有に係る税金についてまとめた表である。下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。

税金の種類	課税主体	納税義務者（原則）	課税標準（原則）
不動産取得税	都道府県	不動産の取得者。ただし、（　ア　）により取得した場合は非課税	固定資産税評価額
登録免許税	国	登記を受ける者	抵当権設定登記等を除き、（　イ　）
固定資産税	（　ウ　）	１月１日現在の固定資産の所有者	固定資産税評価額

1.　（ア）贈与　（イ）相続税評価額　（ウ）市町村（東京２３区は東京都）
2.　（ア）相続　（イ）固定資産税評価額　（ウ）市町村（東京２３区は東京都）
3.　（ア）贈与　（イ）固定資産税評価額　（ウ）都道府県

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第４問】 下記の（問８）～（問１０）について解答しなさい。

問８

近藤康孝さんが加入している生命保険（下記＜資料＞参照）の保障内容に関する次の記述の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、保険契約は有効に継続しているものとし、康孝さんはこれまでに＜資料＞の保険から保険金および給付金を一度も受け取っていないものとする。

＜資料＞

保険証券記号番号
○○△△××□□

定期保険特約付終身保険

保険契約者	近藤　康孝　様		保険契約者印
被保険者	近藤　康孝　様　契約年齢４９歳 １９６６年１０月１２日生まれ 男性		近藤
受取人	（死亡保険金） 近藤　律子　様（妻）	受取割合 １０割	

◇契約日（保険期間の始期）
２０１６年１０月１日

◇主契約の保険期間
終身

◇主契約の保険料払込期間
６０歳払込満了

◆ご契約内容

終身保険金額（主契約保険金額）	５００万円
定期保険特約保険金額	３，５００万円
特定疾病保障定期保険特約保険金額	５００万円
傷害特約保険金額	５００万円
災害入院特約［本人・妻型］入院５日目から	日額５，０００円
疾病入院特約［本人・妻型］入院５日目から	日額５，０００円

不慮の事故や疾病により所定の手術を受けた場合、手術の種類に応じて手術給付金（入院給付金日額の１０倍・２０倍・４０倍）を支払います。

※妻の場合は、本人の給付金の６割の日額となります。

生活習慣病入院特約	入院５日目から　日額５，０００円
リビング・ニーズ特約	

◆お払い込みいただく合計保険料

毎回　　××，×××円

［保険料払込方法（回数）］
団体月払い

◇社員配当金支払方法
利息をつけて積立て

◇特約の払込期間および保険期間
１０年

近藤康孝さんが、２０２３年中に結核により連続して４２日間入院（手術は受けていない）した場合に支払われる給付金は、合計（　ア　）である。

1. １９０，０００円
2. ２１０，０００円
3. ３８０，０００円

問９

損害保険の用語に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。

1. 再調達価額とは、保険の対象と同等のものを新たに建築または購入するのに必要な金額のことである。
2. 保険料率とは、契約者から支払われた保険料の総額に対する保険会社が支払った保険金の総額の割合のことである。
3. 一部保険とは、保険金額が保険の対象の価額（保険価額）に満たない保険のことである。

問１０

自動車損害賠償責任保険（以下「自賠責保険」という）に関する次の記述のうち、最も不適切なものはどれか。なお、加害車両が複数の場合については考慮しないものとする。

1. 自動車事故により他人を死亡させた場合、自賠責保険から死亡による損害に対して支払われる保険金の限度額は被害者１名につき３，０００万円である。
2. 自動車事故により他人にケガを負わせた場合、自賠責保険から傷害による損害に対して支払われる保険金の限度額は被害者１名につき１２０万円である。
3. 自動車事故により他人に後遺障害を負わせた場合、自賠責保険から後遺障害による損害に対して支払われる保険金の限度額は被害者１名につき障害等級に応じて最高２，０００万円である。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

【第５問】 下記の（問１１）～（問１２）について解答しなさい。

問１１

給与所得者である浜松さんは、２０２３年中に住宅ローンを利用してマンションを購入し、直ちに居住を開始した。浜松さんは所得税で住宅借入金等特別控除（以下「住宅ローン控除」という）の適用を受けたいと考え、ＦＰで税理士でもある工藤さんに相談をした。工藤さんが行った住宅ローン控除に関する次の説明のうち、最も適切なものはどれか。

1. 「住宅ローンの返済期間が１０年以上でなければ適用を受けることができません。」
2. 「住宅ローン控除の適用対象となる住宅の床面積は３０㎡以上とされています。」
3. 「住宅ローン控除は、その年分の合計所得金額が３，０００万円以下でなければ適用を受けることができません。」

問１２

宮本さんは、２０年前に購入し、現在居住している自宅の土地および建物を売却する予定である。売却に係る状況が下記＜資料＞のとおりである場合、所得税における課税長期譲渡所得の金額として、正しいものはどれか。

＜資料＞

- 譲渡価額（合計）：７，０００万円
- 取得費（合計）：２，８００万円
- 譲渡費用（合計）：２００万円

※ 居住用財産を譲渡した場合の３，０００万円特別控除の特例の適用を受けるものとする。
※ 所得控除は考慮しないものとする。

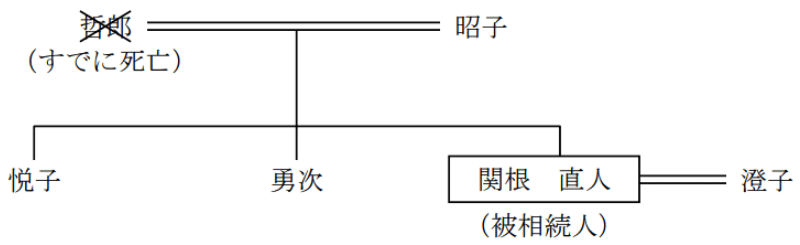
1. ４，０００万円
2. １，２００万円
3. １，０００万円

【第６問】 下記の（問１３）～（問１５）について解答しなさい。

問１３

２０２３年９月２日に相続が開始された関根直人さん（被相続人）の＜親族関係図＞が下記のとおりである場合、民法上の相続人および法定相続分の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、記載のない条件については一切考慮しないこととする。

＜親族関係図＞



※昭子さんは期限内に家庭裁判所で手続きを行い、適法に相続を放棄した。

1. 澄子 １／２　悦子 １／４　勇次 １／４
2. 澄子 ２／３　悦子 １／６　勇次 １／６
3. 澄子 ３／４　悦子 １／８　勇次 １／８

問１４

下記は、普通方式による遺言の特徴等についてまとめた表である。下表の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値または語句の組み合わせとして、正しいものはどれか。なお、問題作成の都合上、表の一部を空欄（＊＊＊）としている。

種類	自筆証書遺言	公正証書遺言	秘密証書遺言
遺言可能年齢	（　ア　）歳以上		
証人	不要	（　イ　）の証人が必要	
検認	＊＊＊	（　ウ　）	＊＊＊

1. （ア）１５　（イ）２人以上　（ウ）不要
2. （ア）１５　（イ）３人以上　（ウ）不要
3. （ア）２０　（イ）２人以上　（ウ）必要

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問１５

ＦＰで税理士でもある長谷川さんは、山田周平さん（６７歳）から相続時精算課税制度に関する相談を受けた。周平さんからの相談内容に関する記録は、下記＜資料＞のとおりである。この相談に対する長谷川さんの回答の空欄（ア）～（ウ）にあてはまる数値の組み合わせとして、正しいものはどれか。

＜資料＞

［相談記録］
相談日：２０２３年９月２日
相談者：山田周平 様（６７歳）
相談内容：相続時精算課税制度を活用して、周平様のご子息である雄太様（３０歳）に事業用資金として現金３，０００万円を贈与したいと考えている。この贈与について相続時精算課税制度を適用した場合の贈与税の計算における控除額や税率について知りたい。なお、雄太様は、周平様からの贈与について相続時精算課税制度の適用を受けたことはない。

［長谷川さんの回答］
「ご相談のあった贈与について相続時精算課税制度の適用を受ける場合、原則として、贈与をした年の１月１日において、贈与者である親や祖父母が（　ア　）歳以上、受贈者である子や孫が１８歳以上であることが必要とされます。周平様と雄太様はこれらの要件を満たしていますので、所定の手続きをし、特別控除として最大（　イ　）万円の控除を受けることができます。今回贈与を考えている現金の金額は３，０００万円であり、（　イ　）万円を超えています。この超えた部分については、（　ウ　）％の税率を乗じて計算した贈与税が課されます。」

1. （ア）６５　（イ）２，０００　（ウ）２０
2. （ア）６０　（イ）２，５００　（ウ）２０
3. （ア）６５　（イ）２，５００　（ウ）１０

【第７問】 下記の（問１６）～（問２０）について解答しなさい。

《設　例》

布施秀則さんは株式会社ＲＴに勤める会社員である。秀則さんは４０歳代半ばを過ぎたこともあり、今後の生活設計について、ＦＰで税理士でもある大垣さんに相談をした。なお、下記のデータはいずれも２０２３年９月１日現在のものである。

［家族構成（同居家族）］

氏名	続柄	生年月日	年齢	職業
布施　秀則	本人	１９７５年　９月２０日	４７歳	会社員
美鈴	妻	１９７７年　７月１８日	４６歳	専業主婦
綾香	長女	２００５年１１月　５日	１７歳	高校生

［保有財産（時価）］（単位：万円）

金融資産	
普通預金	４８０
定期預金	６００
財形年金貯蓄	２２０
個人向け国債	５０
上場株式	２００
生命保険（解約返戻金相当額）	８０
不動産（自宅マンション）	２，３００

［負債残高］

住宅ローン（自宅）：１，７００万円（債務者は秀則さん、団体信用生命保険付き）

［その他］

上記以外については、各設問において特に指定のない限り一切考慮しないこととする。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問１６

ＦＰの大垣さんは、布施家の２０２３年９月１日時点でのバランスシートを作成した。下表の空欄（ア）にあてはまる金額として、正しいものはどれか。なお、＜設例＞に基づいて解答することとする。また、問題作成の都合上、バランスシートの［資産］および［負債］の内訳の記載を省略している。

＜布施家のバランスシート＞　（単位：万円）

［資産］	×××	［負債］	×××
		［純資産］	（　ア　）
資産合計	×××	負債・純資産合計	×××

1．２，０３０（万円）
2．２，１５０（万円）
3．２，２３０（万円）

問１７

秀則さんは、今後１５年間で毎年３６万円ずつ積立貯蓄をして、老後の資金準備をしたいと考えている。積立期間中に年利２．０％で複利運用できるものとした場合、１５年後の積立金額として、正しいものはどれか。なお、下記＜資料＞の３つの係数の中から最も適切な係数を選択して計算し、解答に当たっては、千円未満を四捨五入すること。また、税金や記載のない事項については一切考慮しないこととする。

＜資料：係数早見表（年利２．０％）＞

	終価係数	年金終価係数	年金現価係数
１５年	１．３４６	１７．２９３	１２．８４９

＊記載されている数値は正しいものとする。

1．７，２６８，０００円
2．６，２２５，０００円
3．４，６２６，０００円

問１８

秀則さん、美鈴さんが加入している生命保険は下表のとおりである。下表の契約Ａ～Ｃについて、保険金・給付金が支払われた場合の課税関係に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。

	保険種類	保険料 払込方法	保険契約者 （保険料負担者）	被保険者	死亡保険金 受取人	満期保険金 受取人	保険期間
契約Ａ	終身保険	月払い	秀則	秀則	美鈴	－	終身
契約Ｂ	医療保険	月払い	美鈴	美鈴	－	－	終身
契約Ｃ	養老保険	年払い	秀則	美鈴	秀則	秀則	２０年間

1. 契約Ａ：秀則さんが死亡し、美鈴さんが死亡保険金を受け取った場合は、所得税・住民税の課税対象となる。
2. 契約Ｂ：美鈴さんが受け取った入院給付金は、所得税・住民税の課税対象となる。
3. 契約Ｃ：秀則さんが受け取る満期保険金は、所得税・住民税の課税対象となる。

問１９

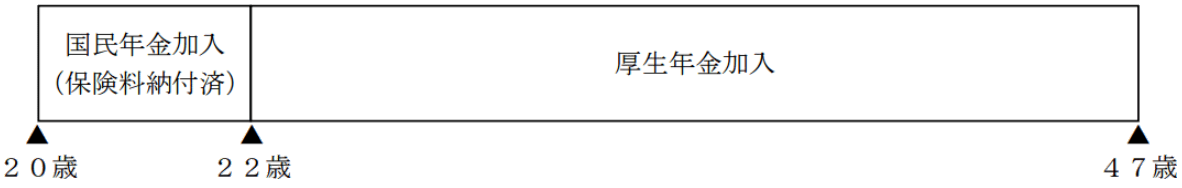
秀則さんは、通常６５歳から支給される老齢基礎年金を繰り下げて受給できることを知り、ＦＰの大垣さんに質問をした。老齢基礎年金の繰下げ受給に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、老齢基礎年金の受給要件は満たしているものとする。

1. 老齢基礎年金を繰下げ受給した場合の年金額の増額は一生涯続く。
2. 老齢基礎年金を繰下げ受給した場合の年金額は、繰下げ月数１月当たり０．５％の割合で増額された額となる。
3. 老齢基礎年金を繰下げ受給した場合、老齢厚生年金も同時に繰下げ受給しなければならない。

〈© FP3級ドットコム　無断転載を禁じます〉

問２０

秀則さんの年金加入歴は下記のとおりである。仮に、秀則さんが現時点（４７歳）で死亡した場合、秀則さんの死亡時点において妻の美鈴さんに支給される公的年金の遺族給付に関する次の記述のうち、最も適切なものはどれか。なお、秀則さんは、入社時（２２歳）から死亡時まで厚生年金保険に加入しているものとし、遺族給付における生計維持要件は満たされているものとする。



1．死亡一時金と遺族厚生年金が支給される。
2．遺族厚生年金のみが支給される。
3．遺族基礎年金と遺族厚生年金が支給される。

《模範解答》

問番号	解答
問1	2
問2	3
問3	1
問4	2
問5	2
問6	1
問7	2
問8	1
問9	2
問10	3
問11	1
問12	3
問13	3
問14	1
問15	2
問16	3
問17	2
問18	3
問19	1
問20	3